

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・買物客の表情をみていると、以前の迷いのある顔からすっきりした顔になっている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・名古屋都心地区で来客数が着実に増加している。愛知万博の来場者、関係者の利用が増えている。
観光型ホテル（スタッフ）		来客数の動き	・愛知万博特需で、東京、大阪など遠方からの客で宿泊、宴会、レストランなどすべてにわたって好調である。	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず客の買い方はシビアであり、また店舗間でばらつきもあるものの、全体的に売上は増えている。特に市街地の売店が調子が良い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・ここ数か月は、愛知万博の影響で販売量、来客数とも増えている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・中部国際空港、愛知万博などと競合するが、プラスと受けとめている。お客様を満足させてリピートを促すおもてなしの成果が現れつつある。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・昔のように爆発的に売上が増加することはないが、昨年12月の店内改装以降徐々に良くなっている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・クリアランスセールが始まっているが、平日でもそこそこの売上がある。土日の天気の良い日は来客数が少ないかと思いきや、忙しくなっており売上也順調に伸びている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・お中元用のギフトはやや低迷しているものの、クリアランスセールや愛知万博のお土産が堅実な動きをみせている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・夏のクリアランスセールが非常に好調で、売上は昨年実績を大きく上回っている。また愛知万博の土産需要も取り込んだ食料品関連が依然好調で、こちらも前年同月の売上を上回る見込みである。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・来客数は減少しているが、単価が上昇しており消費意欲は堅調である。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が若干上昇している。ただし生鮮食品の特に鮮魚では、完全調理済の商品は売れるが、丸ごと1匹や刺身の短冊などの売行きは極端に悪い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・昨年ほどではないが、飲料水の動きが良くなっている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・買い替えを考える客が増えており、全体的に上昇傾向にある。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・民間設備投資物件、マンション、分譲、賃貸ともに好調である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・このところ平日ランチの来客数の伸びがみられる。リピーターがほとんどであり、メニューを工夫し客を定着させたい。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ボーナスが出そろい客の来店頻度が増えているため、売上也伸びている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・バブル期のお金の使い方ほどではないが、購買意欲は確実に向上している。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・愛知万博の影響が大きい。
		都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・愛知万博の影響で満室であり、スイートルームなども売れている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・国内旅行は悪いが海外旅行は順調である。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客の旅行動向をみると、良い状況に変化してきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・ボーナスが出て、昨年、一昨年と比べて今年は繁華街がにぎわっている。
通信会社（開発担当）	お客様の様子	・光通信の新サービスの受付件数が順調に伸びている。		
美容室（経営者）	単価の動き	・今までと違い、客は自分が必要な物であれば、確実に消費をしてお金を落とすようになっている。		

	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・来客数は地域によってばらつきがあるものの、特に三河地方では自動車企業関連が好調で動きは順調である。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量は1年前ないし半年前と比べると減少しているが、3か月前と比べると増加している。
変わらない	一般小売店〔贈答品〕(経営者)	お客様の様子	・客は流動的でリピーターは50%ほどしかいないが、売上のバランスは保っている。
	一般小売店〔生花〕(経営者)	販売量の動き	・お中元用があまり動いていない。
	一般小売店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・雨の少ない暑い日が多く、自動販売機の冷たい飲物がよく売れている。しかしお中元は数年前から減少傾向にあり、今年も昨年実績を少し下回っているため、全体では横ばい状況である。
	一般小売店〔薬局〕(経営者)	来客数の動き	・近隣の駅前ビルから大手スーパーが撤退するなど、当地域では一部の店を除いて厳しい状況である。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・クリアランスが好調で、Tシャツなどを定価で購入する客もおり、欲しい物は購入する状況である。ただしあまり興味がない物には見向きもしない客が多い。
	百貨店(経理担当)	販売量の動き	・来客数も伸びず、全体的にさえない。
	百貨店(外商担当)	来客数の動き	・お中元はほぼ前年並みの売上であるが、愛知万博の影響のためか来客数は減少している。高額品の売行きも相変わらず悪く、売上増は難しい状況にある。
	スーパー(経営者)	単価の動き	・相変わらずの大型店出店ラッシュで、小売店は価格競争に巻き込まれ大変な時代が到来している。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・夏物のクリアランスの時期であるが、客は相変わらず必要な品だけを慎重な買い方で選んでいる。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は前年の96%前後と依然として低迷している。第3のピールの動きも活発で、単価が上がりにくい状況である。 ・お中元ギフトなども、割引率の高い店舗へ流出しているためか、単価や買上点数が減っている。
	スーパー(店員)	販売量の動き	・競合店が新装オープンのため1週間ほど閉店していた期間は来客数、売上とも良かったが、オープンしたとたんに一気に落ちている。客は安い店を選んで買物している。
	スーパー(仕入担当)	単価の動き	・売上、来客数はほぼ前年並みであるが、客単価は若干低下している。 ・テレビの健康番組の影響で、通常はそれほど売れない寒天やところてんが爆発的に売れ、品切れ状態が続いている。定番以外の高価格の商品を仕入れてもすぐ売り切れてしまう状況である。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・天候不順や愛知万博などへの人の流出により、週末を中心に来客数は減少している。
	コンビニ(エリア担当)	それ以外	・今月は天候にも恵まれ、ドリンク、米飯を中心に売上は好調である。しかしそれでも、売上は前年比100%をクリアできていない。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・主力のおにぎりなどで拡販企画を打っても販売量の動きは鈍く、見込んだ成果は得られていない。ただし土用の丑の日のうなぎかば焼重は、各店の営業努力もあり高単価な国産物で昨年以上の販売結果を残している。
	コンビニ(売場担当)	来客数の動き	・愛知万博の影響で売上は順調に推移しているが、愛知万博の影響分を除くと前年並みである。
家電量販店(経営者)	お客様の様子	・客の様子をみていると、消費にはまだまだ慎重である。売上の減少も続いている。	
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・通常はメインになるはずのファミリー層の動きが非常に鈍く、単価、受注とも活気に欠けている。	
乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・来客数の動きはいまひとつである。ただし客からは、仕事が増えたとか忙しくなっているという話を時々聞いている。	
乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新型車の発表がないためか、受注件数、売上とも大きく前年割れしており、盛り上がり欠けている。ただし新車に関する問い合わせは多く、潜在需要は強い。	

乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・本来ならボーナス商戦で一番活気づく時期であるが、盛り上がりには欠けている。新規ローンの内容をもボーナス払いは少なく、あっても最低額しか設定しない傾向がみられる。	
自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・カー用品業界では大型化した店舗は好調であるが、レギュラー店では不調である。新たに割引商品を各店舗に投入してはいるが、売上には結びついていない。	
その他小売[貴金属](経営者)	販売量の動き	・自分の物を買うよりも子供や孫の物を買ったり、旅行、外食などで消費する割合が増えている。より安い商品をそろえ気軽に来店してもらうことを考えている。	
スナック(経営者)	来客数の動き	・ボーナス月であるが、売上は先月と変わらない。客入り状況は込む日と閑古鳥が鳴くような日とで差が激しい。	
都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・愛知万博の影響で、客の動きが引き続き活発である。	
都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・大きな変化ではないが、個人利用が目立ち、大口の新規利用もある。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・夏の旅行シーズンに入りそれなりに動いているが、原油価格の高騰などの影響で利益面では良くない。	
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・来客数は昨年と変わらず落ち着いている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・愛知万博会場とホテルの往復など、今月も愛知万博関連の客が相変わらず好調である。しかし売上は良い日と悪い日があり、全体としてはあまり変わらない。	
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・ボーナス時期を迎えていることもあるが、依然新規申込は順調に推移している。	
通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・販売価格の値下げによる競争のため、お客様を確保したとしても利益は減少傾向にある。	
テーマパーク(総務担当)	来客数の動き	・前月と同様愛知万博効果もあるが、来客数は前月比で減少している。	
観光名所(案内係)	お客様の様子	・富士山の山開きがあり10日間ほど山小屋にいたが、例年に比べ客も少なく消費も少ない。	
ゴルフ場(経営者)	お客様の様子	・客は相変わらずプレー代は少しでも安くしたい様子であるが、食事代やクラブ代にはお金を使うなど、今までの動きと違う行動も目につく。	
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・入場者数は厳しいが、厳しい中でも売上は予算比でそこそこの数字を残せそうである。	
ゴルフ場(営業担当)	販売量の動き	・会員権の売上は、先月同様目標の70%ほどである。売却金額を上回る年会費を滞納している物件も多く、なかなか契約に至らないケースが多い。	
美顔美容室(経営者)	来客数の動き	・客の来店間隔が2～3か月と長くなっている。	
その他サービス[パチンコ機器製造販売](エリア担当)	販売量の動き	・販売数は若干減っているが、客単価を上げることで前年のレベルを維持している。	
設計事務所(職員)	お客様の様子	・ハウスメーカーの人気により、個人建築事務所の客が減っている。ただし、若い夫婦が個人建築事務所に依頼するケースは増えてきそうな気配がある。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数が減少しているため、販売量、客単価が伸びない。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数の落ち込みがかなりひどい。金曜日と土曜日が極端に悪い。
	コンビニ(経営者)	それ以外	・酒販免許件数の増加のあおりで、酒販組合員数は半減している。昔ながらの酒屋という業態はもはや存続できない。
	コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・週末の落ち幅がかなり大きく、週末だけみると単価は昨年より100円近く低くなっている。特にドリンク、おにぎりの売行きが悪い。
	衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・客単価の低下、来客数の減少が相変わらず続いている。
	家電量販店(店員)	販売量の動き	・来客数が昨年と比べて減少している。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・6月までは売行きが良かったが、今月に入りボーナス月にもかかわらず販売量はがくっと落ち込んでいる。

	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・静岡県東部では愛知万博の影響がマイナスに作用しており、個人客を中心に観光客数が減少している。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・昨年から今年始めにかけて韓国などアジア方面の渡航者がかなり多く、増便していたが、ここに来て各航空会社の予約率はかなり低下し、料金を下げている。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・いつものことながら客の回転が悪い。特に子供は全く来店しない。家で髪を切っているようだ。	
	その他サービス〔珠算塾〕（経営者）	それ以外	・夏休みは授業休みが多いが授業料は変わらないためか、一時退会する児童がいる。お金のシビアになってきているとも言える。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告しても客の反応が少なく、土地を値下げしないと売れない状況である。	
	住宅販売会社（企画担当）	販売量の動き	・ボーナス月で期待していたが、販売量、契約高とも3か月前に比べ80%にとどまっている。	
悪くなっている	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客の購買意欲は低い。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・ソフトドリンクの中でも単価の低いチルド飲料が売上を伸ばしており、客単価の低下の要因のひとつになっている。	
企業動向関連	良く なっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は1%の減少となったものの、高収益品目の売行きが好調で利益は増加している。
	やや良くなっている	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車関連の取引先では、例年に比べて業績が向上している。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小企業の夏季ボーナスは、増額している会社が結構ある。ただし、売上の増加というよりは、アルバイト、パート雇用の拡大など経費節減の成果を反映している。
変わらない		印刷業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも前期と比べてやや減少している。
		窯業・土石製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・取引先は過去最高益で活気があり順調に推移しているが、受注量は頭打ち傾向である。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・4月、5月に比較すると受注金額が30%ほど減少しているが、まだ生産能力以上の受注が入ってきている。また普段全く取引のない企業からも引き合いが入ってくる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・原油価格の高騰もあり、発電装置関連は相変わらず低調である。ただし建設機械、自動車関連製品の受注は、若干下降気味ながら比較的順調である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規取引先は増加しているが、全体的には横ばいである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製品によって好不調があるものの、売上全体でみると3か月前とほぼ同レベルとなっている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きは例年通りであり、伸びは顕著にみられない。
		広告代理店（経理担当者）	受注量や販売量の動き	・受注量も販売量も驚くほど変動がみられない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・クライアントに提案していた企画が少しずつ形になってきてはいるが、トータルで見るとあまり変わっていない。
		公認会計士	取引先の様子	・自動車関連以外の産業は、依然として業績が厳しい。燃料費などの価格上昇がコスト増につながっており、収益を圧迫している。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的にみて、新規の設備投資が順調に行われている。	
やや悪くなっている		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも前年比5～6%減少している。
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・市況は国内需要の低迷と輸出の伸び悩みで下降傾向になっている。
		輸送業（エリア担当）	それ以外	・お中元の荷物が大量に発生する時期であるが、今年は前年比で9割を切っている。
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷物は前年比104%であり、売上も増加している。しかし軽油の値上がりで燃料費が大幅に増加しており、燃料代に見合う運賃値上げも進んでいないため、車両収支は悪化している。	

	悪く なっている	金属製品製造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・売上はなかなか増加しないが、原材料は高止まりし ている。
		金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・プロジェクトの谷間のせい、製造部門では動きが 乏しく、売上に繋がっていない。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・前年に比べて物量は大きく下回っている。例年7月 は海の日以降に大幅に物量が増加するが、今年はそれ ほど増加していない。 ・小口荷物や宅配便、メール便は、郵政民営化を前に 各社とも物量確保のため激しい価格競争を展開してい る。
雇用 関連	良く なっている	学校[大学] (就職担当)	周辺企業の様子	・自動車部品、粘着テープ、段ボール、工作機械メー カー、輸送用機械などで売上が増加しており、求人意 欲もおお盛である。
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・愛知万博関連で追加オーダーが増えている。製造関 連、サービス関連も引き合いが多く、受注残が増えて いる。
		職業安定所(所 長)	求職者数の動き	・新規求職者数は前月、前年同月と比べても大きく減 少している。定年退職者数が減少している。好条件企 業への転職相談は増加している。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・有効求人倍率がまだまだ上昇傾向にあり、あわせて 派遣許可届出事業所が増加傾向にある。
		職業安定所(管 理部門担当)	求人数の動き	・新規求人に占める派遣・請負求人の割合は依然とし て高いが、輸送機械器具製造や一般機械器具製造では 活気がみられる。
		民間職業紹介機 関(経営者)	採用者数の動き	・転職者数は前年比140%ほど伸びており、求人数の 増加と比例している。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・人材募集件数が減少している。
		人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・派遣スタッフが集まりにくい状況が続いている。慢 性的なスタッフ不足が継続している。
		新聞社[求人広 告](営業担 当)	求人数の動き	・当県は製造業を中心に求人活動が活発であるが、な かなか人が集まらない。 ・求人は大手製造業ほど活発であるが、中小企業はそ れほどでもない。 ・製造業以外では介護関係の求人が活発で、条件の良 いリハビリ病院に人材が流れ、個人病院の人手不足が 目立つようになっている。 ・一部業種が全体を引っ張っているものの、小売業な どでは引き続き苦しく、その格差は広がっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で若干増加しているもの の、一時期の勢いはなくなっている。正規雇用にも依 然慎重な様子である。
		民間職業紹介機 関(職員)	求人数の動き	・求人数はほぼ横ばいである。大手自動車製造関連企 業の求人数は増加しているが、他業種は前年並みであ る。
	やや悪く なっている	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・大手自動車製造関連の募集は依然好調であるが、建 設関係や業務請負等は3か月前より低調になってい る。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は5月まで4か月連続で前月を 下回っている。特に新規求人数は前年同月に比べ大き く減少している。輸送用機械器具製造業を含む製造業 でも13か月ぶりに減少に転じている。
	悪く なっている	-	-	-